

市民と議会との語る会実施報告書

日 時	令和7年11月12日（水） 午後7時 ～ 午後8時30分頃
会 場	北町公民館
出席議員	川崎悟司 大久保恵子 題佛臣一 吉田啓三 小玉俊一 土田信義
参加者（市民）	15名
司会（班長） 議会報告者 全体記録係	司 会 ：川崎 悟司 議 会 報 告 ：吉田 啓三 記 録 ：土田 信義
【1部】 定例会概要報告等 （報告者）吉田啓三	<p>Q：自転車活用推進計画について、道路整備をしてほしい。</p> <p>A：道路整備も並行して進めるべきということを議会でも強く話をして いる。</p> <p>Q：ひとり親家庭等の受験生への補助は国の補助金が入ってくるのか。 申し込みが予算額を超えたらどうなるのか。</p> <p>A：国からの補助を活用し取り組むものである。調査の上で予算を決め ているが、万が一超えることがあれば補正対応するのではないかと思 う。</p> <p>Q：脱炭素社会実現事業で、費用対効果をどう考えているのか。</p> <p>A：100%国の事業である。北陸電力グループが事業主体となり、設 置、管理を行う。</p> <p>Q：観光推進事業について、ほかにこのようなことをしたいという料亭 等の施設はないのか。</p> <p>A：宿泊施設が条件となっているため、現在は寿屋とSUKUの2施設 となっている。</p> <p>Q：常任委員会の視察先はどのように決めたのか。</p> <p>A：産業建設委員会では、越前市は有機農法面積が多いため、同じく有 機米を行っている山形を視察先とした。 教育厚生委員会では、学校給食の無料化等子育て支援施策について勉 強させてもらうために明石市を視察先とした。</p>
【2部】 意見交換会 （1班） 進行：大久保恵子 記録：吉田啓三	<p>Q：山に興味を持ってもらおうということで2025年越前市山ガイドを農林整 備課が作成した。作成して終わりではなく、そこから発展させてほしい。どう2 2の山をPRしていくか、市民に足を踏み入れてもらえるかといった活動をや ってほしい。</p> <p>A：ガイドブック作るのが仕事ではない。それを生かしてどう広めていくかとい う活動は必要だと思う。</p> <p>Q：高校生の国体やインターハイ、甲子園出場について、市では壮行会を行っ ていない。将来の越前市の柱になるような人物になってほしいという気持ちを 込め、壮行会を行うことを考えてほしい。</p> <p>A：壮行会は行っていないが、出場後帰ってきた選手が市長に報告する会は設</p>

<p>(2 班)</p> <p>進行：題佛臣一</p> <p>記録：土田信義</p>	<p>けている。</p> <p>(意見)</p> <p>小中学生はスポーツ課から激励をもらい、市長との懇談会について参加を聞くアンケートがあるが、高校生はない。結果が出たら、顔を出してくれないかというのは調子が良すぎるのではないか。</p> <p>Q：除雪が大変。狹隘道路は市もやってくれず町内でやるしかないが、高齢化しているため大変。歩道も除雪が全然されない。</p> <p>A：業者が除雪してくれない場所は、町内で対応するしかない現状である。歩道についても、歩道除雪機が何台かしかないため除雪ができていない。通学路に関しては、連絡があれば除雪を行っている。</p> <p>(その他要望・意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の電話対応(保留が長い、たらい回しにされる)を改善してほしい。 ・市役所に相談しても、検討しますと言われるだけで、結果がない。 ・三里山にクマがいる可能性があるが、市は把握しているのか。クマやイノシシについて市はあまり対応してくれない。 <p>Q：浄化槽の水を流すところがない。</p> <p>A：インフラ整備は重要なので訴えていく。</p> <p>Q：除雪の苦情が多い。</p> <p>A：除雪はほかの地区でも問題となっている。町内会で除雪機と言うとなかなか難しいところもある。</p> <p>Q：65歳以上の健康診断について、どれだけ受けているのか。しなくていいのではないか。</p> <p>A：なるべく健康診断をして、早期発見、治療したほうが医療費がかからないという考えである。多くの人が受けており、助かっていると聞いている。そういったご意見は伝える。</p> <p>Q：高齢者に医療が手厚いが、若者に持っていくべき。</p> <p>A：高齢化社会になっているので、今まで安かった医療費についてちょっと負担してもらうようにはなっていくと思う。</p> <p>Q：もっと若者を大事にしたほうがいい。</p> <p>A：子育て支援について、越前市は結構取り組んでいるほうである。国の補助金や交付金を活用しながら取り組んでいる。</p> <p>Q：地域に公立の保育園があるが、地元の子が入れず他地区の子が入っている。他地区の方が会長をするので連携が難しい。</p> <p>A：保育園は保育の必要性が認められる子しか入れないため、家に子供の面倒を見られる人がいる場合は優先順位が下がってしまう。</p> <p>(その他要望・意見等)</p>
--	--

<p>(3 班)</p> <p>進行：小玉俊一</p> <p>記録：川崎悟司</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線駅前ばかり発展して北新庄は陰になってしまっている。 ・選挙の看板を設置するのに区長に粗品を持ってくるがいない。 <p>Q：役が多すぎる。ひとりで何役も持っている。市役所が人員削減した分地区に仕事が流れているのではないか。</p> <p>A：自治振興会になってから業務が増えている状態である。</p> <p>Q：自転車を推進されても、高齢者に対してはちょっと難しいものがある。デマンドタクシーはどれくらい普及しているのか。のろっさのほうを待っていれば来るため利用が楽である。</p> <p>A：デマンドは手続きの負担がある。高齢者はスマホでの操作が難しい方も多いのでそこは問題である。のろっさは、ぐるっと回って目的地に着くため時間がかかり、利用者が少ない。</p> <p>(その他要望・意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所の部署が細分化されて分かりにくい。 ・災害があった際に、小中学校以外にも高校や大学を避難所とするようなオープンな考え方、協力的な仕組みをとってほしい。県立だから違うというようなことがないようにしてほしい。
--	---

令和7年12月11日

越前市議会 議長 様

第2班 班長 川崎 悟司